

首位で終盤戦へ

投打ともに好調維持

1部復帰へ確かな手応え

東都大学野球春季リーグ戦(2部)第1〜3週(4月18日〜5月12日、大田区・大田スタジアムほか)開幕戦で国士大に13-1で大勝するなど、6試合を終えて4勝1敗1分け。勝率7割5分で日大と並び、1位で終盤戦に臨む。村上圭介主将(経済4・西脇工高)は「開幕戦を勝利でスタートできたことが大きかった。続く試合は苦しい場面もあつたが、勝ち越せたこととチームの成長につながった」と手応えを感じている。

村上主将はリーグトップの2本塁打、打率も3割7分5厘と好調を維持する。チームを上昇気流に乗せた開幕戦での満塁弾については「リードしていた場面だったが、なにか点を取りたい」と思い切りよくスイングできた」と振り返った。

拓大1回戦(5月11日)で完封勝利を挙げた(石井沙弥佳・文3)



バッティングでチームをけん引する村上主将(国士大1回戦)

※今季の特別ルールと順位決定方法 2部は9回終了時同点の場合は引き分け。リーグ戦は勝ち点制ではなく、勝率の最も高い大学が優勝となる。また、1部が7校の特別編成のため、入れ替え戦は1部6、7位と2部1位の3校によるリーグ戦で1位が1部となる。

専大スポーツ

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 418

専大スポーツ
編集部
公式
WEB

Twitter @sensuponow
Instagram sensuponow

佐々木学長が始球式 専スポ編集部インタビュー

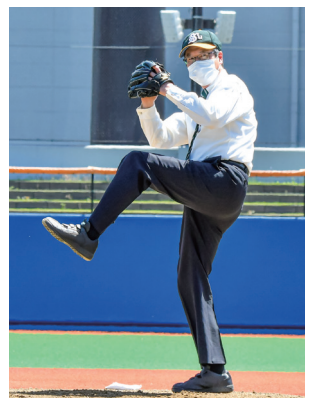
開幕戦(4月18日)では、野球部長の佐々木重人学長が始球式のマウンドに立ち、見事な投球で選手を激励した。写真。佐々木学長に、感想と野球部、体育会に所属する学生への期待を聞いた。

——始球式を終えて。
野球の経験が全くなく、未知の世界に飛び込むようで、とてもワクワクしている。

部活動を通じた成長を期待

始球式前日まで悪天候のため練習できず、当日に軽くキックボールをして本番を迎えた。いざマウンドに上がると緊張し、独特の雰囲気だと感じた。あの場所で堂々とプレーしている選手たちに憧れを抱く。投球後、仁村薫コーチから「学長に始球式をしてもらって負けるわけにはいかない」との話があった。その日

——野球部について。
今年のチームは雰囲気がよく、選手たちが自信を持ってプレーできるようなスタンプがサポートしていると肌で感じた。つながりのいい野球をし



——体育会に期待すること。
コロナ禍だから仕方がないとあきらめず、ポジティブに自分ができることを実践してもらいたい。体育会の学生は学内で憧れの存在であると自覚し、常に格好よくいてほしい。部活動では、体力や技術の向上だけでなく、チームワーク、判断力、データ分析力など多様な能力も養われる。特別な能力も養われる。特に、コミュニケーション能力は社会人としての基礎力になる。将来のために必要なスキルをスポーツとともに身につけていくことで、充実した大学生活を過ごすことができる。各大会で結果を残すことと同様に、部活動を通して大きく成長することを期待している。(倉鹿野雅賢・経済3)

団体4位 8年ぶり全国大学対抗戦へ

最優秀選手に諸橋主将

関東女子大学ゴルフ春季Aブロック対抗戦(5月8〜9日、栃木県・セブハン)

一ドレッドクラブ
今大会は出場5人のうち、上位4人の合計スコアで競う団体戦。トータルの143ストローク(1アンダー)で個人トップの成績を残し、最優秀選手に選ばれた諸橋愛奈主将(文4・佐久長聖高)を中心に、安那亜沙(経済2・広島国際学院高)らが奮闘した。専大は4位で大会を終え、8年ぶりとなる全国大学対抗戦(6月24〜25日)の出場を決めた。

新人障害競技 佐渡が2位 複合馬術団体 2位

東都学生馬術競技大会(4月15〜18日、神奈川県・津久井馬術競技場)

を見せたが、タイム差で惜しくも2位となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で久しぶりの試合となった佐渡。「緊張したが完走できてよかった。馬に助けられたのではなく、馬を助けた

男女合わせて12人が 全日本の出場権獲得

新人障害競技で、佐渡時結子(経営1・東農大第一高)がリアルモード号と共に減点なしの騎乗

日本学生フェンシング・カップ(4月16〜18日、世田谷区・駒沢総合運動場体育館)男子エペで大谷謙介(経営1・岩国工高)が4位、伊藤海之亮(法1・栃木商高)が5位、女子エペで伊藤凜(人間科学1・安来高)が4位と

卓球部OB 及川さん ナショナルチーム入り

卓球部OBの及川瑞基さん(合2商、木下グループ)が、2021年度男子ナショナルチーム入りを果たした。及川さんは今年、全日本選手権の男子シングルスで初優勝。Tリーグでは、木下マイスター東京に所属し、チームのレギュラーシーズン1位、プレーオフ・ファ

イナル進出に貢献した。かねて「2024年パリ五輪を目指す」と話していた及川さん。ナショナルチーム入りを機に、日本代表として国際大会で経験を積み、夢の実現を果たしてほしい。

東京五輪 日本代表に

フエンシング部OB 島村さん
4月25日、東京オリンピックのフエンシング日本代表内定選手が発表され、男子サークルに、フエンシング部OBの島村さん(平18経営、警視庁)が選ばれた。島村さんは2013年から全日本選手権の男子サークルで4連覇。以降

体育会の活躍を発信

専大スポーツ編集長 渡邊未来(文3)
専修大学体育会本部情報局「専大スポーツ」編集部(通称「専スポ」)は、体育会各部の試合を観客席より前で観戦・撮影し、選手たちの背中を追い、記事を執筆しています。
毎月発行される学内広報紙「ニュース専修」内の「専大スポーツ」の面で発信。また、専スポ独自企画、編集するフリーペーパー「専Satiation」では、専スポ面で伝えきれなかった試合の詳細、選手の学生生活に迫った企画や、社会人選手として活躍するOB・OGに取材した記事などを掲載しています。
——部員募集中——
私たちと一緒に活動してくれる部員を随時募集中です。各SNSのDMからお気軽にお問い合わせください。

SNSで各部の情報紹介

専修大学体育会
体育会本部
公式
Instagram

体育会各部の情報を掲載している体育会本部のSNS。部員数や練習場所の基本情報や活動風景の写真など、部の雰囲気も見る事ができる投稿が盛りだくさん！
お問い合わせ可能な各部のSNSアカウント情報もあるので、興味のある方は要チェック！



最高の一瞬を追う渡邊編集長